

先生方へ

いじめは絶対に許されないという決意をもち、その思いを子どもたちに伝えるとともに、日常の観察や面談などを通して、児童生徒の悩みや不満等の実態把握に努めてください。

また、いじめの相談があった時は、教職員一丸となり、子どもたちや保護者の方々と一緒に考え、解決し、子どもたちにいじめの卑劣さや、解決方法を理解させてください。

こんなサインを見逃さず、早期対応を！



いじめを発見したら

- いじめられている子どもの話を十分に聴き、本人の意志を確認しながら、今後の対応を一緒に考えましょう。
- いじめている子どもには、毅然とした態度で、自分の行為が相手にどんな思いをさせているのか気付かせましょう。
- 保護者等との連携を図りながら、対応後の子どもたちの行動がどう変わったのか注意して見守りましょう。